



稲高同窓会報

第39回全道高等学校同窓会文化祭開催
写真部 千原 華月

地 址 11番 世帯 加高町 野平 稲高
市 立 野平 稲高 同窓会
澤 知 事 室 (0587) 32-3168
稲 高 同 窓 会 (0587) 24-1997
F A X

会長就任にあたって
同窓会長 家田 鐵彦



皆様に
益々ご健
勝にてご
会員の

活躍のことと拝察し、心からお慶び申し上げます。また、平素より同窓会のためにご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私こと、この度の役員任期満了に伴い、皆様のご推挙により本会の会長に就任いたしました。もとより微力でその器ではありませんが、歴代会長の築かれた輝かしい業績を範とし、重責を全うすべく努力する覚悟です。

ことに、前会長の後藤芳徳氏は、支部長として、また会長として長年に亘って本会並びに母校の発展にご尽力されました。とりわけ昨年の創立百周年に当たりましては、力強いリーダーシップを発揮して歴史的な大事業をかくも立派に完遂されました。

その跡を受け継ぐ浅学非才の私としましては、責任の重さに身の引き締まる思いがしております。会員の皆様におかれましては、創立百周年記

念事業で示された素晴らしい母校愛とご協力に加え、これまでにも増す温かなご指導とご鞭撻を切にお願い申し上げます。

さて、我が母校は大正三年に町立園芸学校として設立され、校名や制度の改編とともに幾多の試練と困難を見事に克服して着実な発展を遂げ、昨年、歴史的な節目である創立百周年を迎えました。母校は今日に至るまで一貫して、

時代や地域の要請に応える教育活動を展開し、使命を堅実に果たして参りました。本校に集い学ばれた一万七千余名の同窓生の皆様は、この地の農業振興はもとより、広く各界の発展に多大な貢献をされ、今日を築いておられます。このことは我々の誇りとするところであります。

今日、我が国の農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化に伴う農家戸数の減少や後継者不足、耕作放棄地の増加等、改善の兆しが見えない問題に加え、諸外国からの圧力による農産物価格の低迷、生産資材の高騰など、大変に厳しいものがあります。

しかしながら、一方では、農業が食べ物を生産しているだけの産業という発想が変わ

り、安心・安全、健康や文化、自然、環境への貢献など、農業の営みの社会的側面がクローズアップされるようになり、農業の将来に明るい希望となつていきます。食料の供給を通じて人々の暮らしと健康を守るだけでなく、水を育み、国土を保全し、緑豊かな魅力ある景観を作り出すとともに、様々な地域の文化を産み出してきた農業の役割が再確認されている今、農業を専門的に学ぶ母校の果たす役割はこれまでも増して重要になっていきます。こうした時代の要請に応えるため、母校の一層のご活躍と発展を期待して止みません。

創立百周年記念事業を立派に成し遂げた今、私も役員一同は決意も新たに一致協力して同窓会活動を積極的に推進し、さらなる発展を期して努力する所存です。会員の皆様方にはこれまでと同様に格段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上、会長就任に当たつての決意の一端を述べて会員各位のご協力をお願いし、併せて皆様のご健勝と母校の更なる発展を祈念申し上げ、就任のご挨拶といたします。

創立百周年を終えて

同窓会顧問。後藤 芳徳
前同窓会長



残暑の
候、同窓
会員の皆
様にはご

健勝にてご活躍のことと拝察
いたします。

昨年十月三十日の創立百
周年記念式典には同窓会員の
皆様方の物心両面のご支援ご
協力をいただきと共に先生方
PTAの方に、生徒会の皆さ
んにもご尽力をいただき盛大
に立派に開催することができ
ました。ここに改めて厚くお
礼申し上げます。

私は記念式典の際の式辞に
も、また記念誌の挨拶文にも
述べさせていただきましたが
本校は幾多の変遷を経ながら
県下に誇る伝統のある高等学
校として発展してまいりまし
た。今後とも創立百周年に賜
りましたご支援ご協力により
永遠に本校が発展しますよう
お願い申し上げます。

せていただきました。ここに
厚くお礼申し上げます。
二十七年頃から私の後任と
して家田鐵彦氏を推薦申し上げ、理事会において選出させて
いただきました。同窓会員の
皆様には私以上にご支援ご
協力を賜りますようお願い申
し上げますと共に、会員の皆
様方のご健勝ご多幸をお祈り
し、お礼のご挨拶とします。

創立百周年大成功のお礼

校長 林 広志



同窓会
員の皆様
には益々
ご健勝の

こととお慶び申し上げます。
平素より本校の教育に格別な
ご理解とご支援を賜り、誠に
ありがとうございます。

特に、昨年の創立百周年に
際しましては、募金活動に始
まり、記念誌の編集、記念庭
園の造園や演台の寄贈、記念
式典・記念講演並びに祝賀会
の実施と、一つ一つの事業が
成功裡に成し遂げられました。
このことは、私ども教職員と
生徒一同にとりまして、この
上ない喜びであり、誇りとす
るところであります。

百周年に当たって強く感じ
て参りましたのは、同窓生の
皆様方の母校に対する温かな
思いです。皆様方は本校をと
ても大切にされ、歴史的な節
目に際して学校を盛り立てた
い、母校のために役立ちたい
という気持ちから、沢山の募
金にご協力下さり、事業の推
進に多大な時間を割き労力を
惜しまれませんでした。

また一方では、折角の機会
だから地域の方々にもと、記
念講演を広く開放されました。
地元の方を中心に、多数の方
がお越しになられ、有意義な
一時を皆様と共有されました。

来賓として記念式典に出席
された中学校や高校の校長先
生方は、本校がいかに地域に
根付いて多くの方々から大切
にされているかを目の当たり
にされ、強い感銘を受けたと
仰いました。本校が百年に
亘つてこの地域を支えてきた
結果が、式典にも現れていた
のです。

このように記念事業を立派
に成し遂げて頂くことができ
ましたのは、実行委員長の大
役を果たされた後藤芳徳
前同窓会長様の並々ならぬご
努力と、同窓会役員並びに支
部長様を始め全同窓生の皆様
方の温かな母校愛に支えられ

た物心両面に渡るお力添えの
賜です。百周年を立派に成し
遂げられ、この度の役員改選
を節目にご退任になられる皆
様方には、これまでの数々の
ご労苦に心から感謝申し上げ
ます。また、新しくご就任に
なられました家田鐵彦同窓会
長様を始め新役員・支部長様
並びに引き続き同窓会のため
にご尽力賜ります皆様には、
今後とも力強いご支援を賜り
ますよう、心よりお願い申し
上げます。

本校では、農業の専門教育
を、実際に生き物を育て、物
を作りながら展開しています。
この過程で、慈しみ思いやる
心、額に汗することを厭わな
い態度、助け合い協力する姿
勢など、人としての資質も磨
かれ、このことが卒業後に地
域の産業と社会の発展に貢献
できる力となつていきます。

百一年目を迎えた今、私ど
も教職員並びに生徒一同は、
諸先輩の偉業を受け継ぎ良き
伝統を一層発展させるととも
に、時代や地域の期待に更
にお応えできる学校となるよう、
今後も鋭意努力する所存です。
誠にありがとうございます。

新役員紹介

(敬称略)



副会長
湯浅 勇夫



副会長
吉川 靖雄



副会長
牛田 幸夫



書記
鵜飼やよい



会計
佐藤 裕計



監事
渡辺 菱



監事
武田 和弘



昭和二十八年卒業 県立稲沢高校普通科、 家庭科合同クラス会を開く

普通科卒業 角 田 泰 利

平成二十六年三月九日、普通科、家庭科の合同クラス会を名鉄グランドホテルで卒業以来六十一年振りに開きました。母校の百周年と私達の八十歳の記念でもありました。

当時の時点で内訳は総員九十名、出席者二十五名（男性十五名、女性十名）、欠席者三十八名、物故者二十五名でした。偶然に出席者と物故者と同数でした。出席者の中には、東は埼玉県、西は神戸から来た人もいました。

初めは誰か分からなかった顔も、話をしているうちに思い出し、時間が過ぎるのを忘れて語り合いました。

最後に校歌を斉唱し、再会を約しながら帰途に着きました。

★角田氏は在学中に生徒会長を務められ、現在の校歌の制定に多大な貢献をなされました。この経緯は「創立百周年記念誌」四十四頁と「創立百周年記念特集号」十六頁に記載されていますので、参照下さい。また、角田氏には、創立百周年記念祝賀会の最後、出席者全員による校歌斉唱の場面で、校歌制定の紹介に続

いて音頭を取っていただきました。（事務局・山田 記）



昭和四十五年普通科卒業生 同窓会を開きました

稲沢高校を卒業して、人生

も後半戦に入り、当時の卒業生から「一度、同窓会を！」という声を聞くようになり、幹事七名が発起人となり普通科同窓会を平成二十七年六月十四日（日）に開催しました。午前十一時、名鉄「国府宮駅」に集合し、送迎バスで四十五年ぶりの稲沢高校へ。当日は、梅雨空ではありませんでしたが創立百周年記念庭園前で数学の斎田先生、保体の田内先生の二

人の恩師のご出席のもと、卒業生三十五名が記念写真に収まりました。その後、会議室で教頭より学校の近況報告と校内施設を案内させていただきました。卒業以来四十五年ぶりに入る体育館や教室に、一瞬ではありますが当時の記憶が蘇り気分は高校生でした。懇親会は、普通科が分離独立してできた稲沢東高校の近くにある「鶴べ別館」にて開催し、当時の昔話に花が咲き、四十五年の時空を超えた楽しい一時を過ごすことができました。今回を機に幹事を選出し、定期的にクラス会を行うことになりました。

（教頭・岡田 記）



支部だより

美和支部

平成二十七年一月十七日（土）午前十一時よりレストラン天王にて新年恒例会が開催されました。来賓として塚本名誉会長、後藤同窓会長、林校長の出席の下、八名の同窓生が参加されて百周年の成功を祝う意義深い会が開かれました。（事務局・山田 記）



へ。有志による懇親会で後藤芳徳支部長、塚本忠男先生、副支部長二人、理事、庶務が各一人の計六人。旧佐織町を十六日の十三時に出発。車内は酒盛り宴会。十六時に「彩朝楽」到着。早速、下呂温泉特有で白のヌルツとした湯で一風呂浴びてオー、ワンダフル。夜はバイキング料理、腹一杯飲んで食べて寝て起きる。朝の外の十cmの雪景色。朝食もバイキング、嬉しいことに出発の十一時までカラオケが無料との由、後藤会長が先陣を切って十八番の歌を披露、後は次から次へのリクエストで大盛況、塚本先生は深い喉で「詩吟」を熱唱。帰りは四十一号線の白川・道の駅で昼食。美濃加茂辺りから雪景色が雨に。塚本先生曰く「お湯が気に入った。彩朝楽へ近いうちに家族でもう一度来たい。」なお、佐織支部は母校の創立百周年記念事業が終了したのを機に平成二十七年四月より、後藤会長が勇退して顧問、後任は鈴木清彦支部長、庶務Ⅱ森幸夫、会計Ⅱ杉本一夫、幹事Ⅱ山田昌生・服部静一の役員諸氏の他に、理事Ⅱ十人、支部員Ⅱ百二十人で構成。

（佐織支部・伊藤義文 記）

佐織支部

稲高同窓会佐織支部は二月十六日（金）十七日（土）の二日間、マイカー「トヨタ・ノア」八人乗りで四十一号線を駆って下呂温泉「彩朝楽」

この後、平成二十七年五月十六日(土)午後十一時よりレストラン天王屋本店にて支部総会が開かれました。来賓として家田同窓会長と岡田教頭、大崎事務局次長が出席。約二十名の役員の方々の参加により、平成二十四・二十五年度年度の事業・決算・監査報告の後、役員改選、平成二十七年・二十九年年度の事業計画及び予算案が審議されました。続いて温かな雰囲気懇親会が持たれ、新たな支部活動を開始されました。

(事務局・大崎 記)

千代田支部
平成二十七年一月二十四日(土)午後六時より千代田市民センターにて支部総会が開かれました。来賓として同窓会長と校長が出席。約二十名の役員の方々の参加により、記念式典に欠席された方への記念品配布と四月に支部総会を行うことが決定されました。これを踏まえ、四月五日(日)午後六時より稲沢市治郎丸の五條にて支部総会が持たれ、後藤同窓会長、校長、事務局長の出席の下、総会並びに百周年の成功を祝う懇親会が和やかに開かれました。

(事務局・山田 記)

岩倉支部
平成二十七年四月八日(水)午後六時半より、岩倉市五条川沿いの石黒鉄工所にて支部総会が開かれました。来賓として後藤同窓会長、林校長、大崎が出席。前岩倉市長の石黒顧問始め十五名の同窓生が参加され、新支部長に中村秀美氏(昭四十六造士卒)を始め新たな支部役員が選出されました。その後、百周年の成功を祝う懇親会が、水面を流れる花筏を愛でながら和やかに催されました。

(事務局・大崎 記)

八開支部
平成二十七年四月二十八日(火)午後六時半より、愛西市において支部総会並びに懇親会が開かれました。来賓として家田同窓会長、林校長、大崎が出席。約二十五名の同窓生が参加されました。総会では吉川支部長(同窓会副会長)から百周年及び支部活動のまとめがあり、新支部長として鷺野峰生氏(昭四十九園芸卒)を始め新役員が選出されました。続いて懇親会となり、百周年記念事業の成功を祝い、互いのご労苦を労う和やかな一時となりました。

(事務局・大崎 記)

**西町旧校地の記念碑
整備なる**

創立七十周年記念事業の一環として昭和五十九年吉日をもって旧校地跡地に二基の記念碑が設置されました。一つは現在のJA愛知西稲沢市支店敷地内に設置された「稲沢町立園藝学校址」であり、他の一つは現在の稲沢市西町さなか児童センター(旧稲沢市営西町プール)敷地内に設置された「尾張農業教育之原點・稲澤農学校址」です。



後者の記念碑は、その後市営プールの閉鎖と西町地区の再開発に伴い、道路に背を向けて置かれる形になってしまいました。

このため、記念碑の正面を道路側に向ける工事が懸案になっていましたが、稲沢市役所のご配慮により、百周年に合わせて向きを直していただくことができました。

稲沢市役所のご高配に感謝申し上げます。

記念樹木

ヒマラヤスギ (マツ科)

百年の歩み
一九一四年(大正三年)稲沢町高御堂にて開校記念樹
一九二三年(大正十二年)稲沢町見附に移転・移植
一九五八年(昭和三十三年)稲沢市平野町に移転・移植
現在に至る
過去二回の移植にも耐え、稲高と共に百年の歳月を歩んできました。堂々たる様姿のこのヒマラヤスギは、これからも幾多の生徒の歩みを見守り続けてくれることでしょう。



カイズカイブキ(ヒノキ科)

創立五〇周年の記念樹として一九六四年(昭和三十九年)に当時の在校生の親から寄贈を受けて植栽された。
このカイズカイブキは、養老の山に自生していた大木を掘り取り、養生されたもので、樹齢は百年を優に超えている。



四角いスイカとフルーツ・カーベジタブル・カービングに驚き



生活科学科では一課題研究」という授業でアグリ・アートに取り組んでいます。湿美農高で「カクメロ」を世に出した加藤俊樹教諭が本校に赴任して二年目、生徒と共に今度はスイカを四角にフルーツ・ベジタブル・カービングはタイ王国の伝統芸で、果物や野菜を小さなナイフで草花に彫り上げ食卓に彩りを添えます。本校卒の長屋玖瑠璃美実習助手の指導で。

百周年記念関係

- ・ 三世代表彰者
 - 一宮丹陽支部 森 浩通 様
 - 昭和三十五年三月農学科卒業 森 雅之 様
 - (昭和五十一年三月園芸科卒業) 森 満 様
 - (平成二十六年三月園芸科卒業) 森 金 様
- ・ 尾西地区
 - 小川 敬光 様
 - 昭和二十一年三月農学申種四回卒業
 - 小川 利秋 様
 - (昭和三十三年三月定農科卒業)
 - 渡辺 勝美 様
 - (昭和三十六年三月定農科卒業)
- ・ 記念誌
 - 169ページ
 - 昭和四十三年度クラブ発表一位
 - 小出清華・小出清幸

平成27年度～平成29年度 同窓会役員名簿

役職	氏名	支部名	卒科回
名誉会長	塚本 忠男	稲沢支部	農甲3
顧問	後藤 芳徳	佐織支部	農高1
顧問	加藤 睦郎	稲沢支部	普通2
顧問	丹羽 俊春	祖父江支部	園芸7
顧問	石黒 靖明	岩倉支部	園芸9
顧問	長瀬 保	師勝支部	定農9
顧問	鈴木 幸育	豊山支部	園芸11
顧問	大野 紀明	稲沢支部	普通15
顧問	久野 時男	飛島支部	農土10
顧問	日永 貴章	立田支部	農土36
会長	○家田 鐵彦	千代田支部	園芸9
副会長	○湯浅 勇夫	稲沢支部	普通14
副会長	吉川 靖雄	八開支部	定農13
副会長	牛田 幸夫	丹陽支部	園芸16
書記	鶴飼やよい	稲沢支部	定家1
会計	佐藤 裕計	祖父江支部	園芸4
監事	渡辺 菱	祖父江支部	定農12
監事	○竹田 和弘	平和支部	園芸21
理事	○穂積 啓允	小牧支部	農業12
理事	鬼頭 勝治	八開支部	農経6
理事	○加藤 廣行	萩原支部	園芸23
理事	野田 徳雄	萩原支部	農経5
理事	○小林 一一	一宮地区支部	園芸12
理事	林 文夫	一宮地区支部	園芸12
理事	○山田 廣正	七宝支部	農業8
理事	犬飼 元造	七宝支部	園芸7
理事	山田 清二	七宝支部	農業9
理事	木村 勇	平和支部	園芸19
理事	角田 肇康	平和支部	緑園10
理事	○鈴木 義輝	師勝支部	定農15
理事	三輪 隆則	師勝支部	造土1
理事	大口 輝男	師勝支部	園芸16
理事	蜂須賀崇晃	稲沢支部	農業6
理事	内藤 守	稲沢支部	定農10
理事	塚本 一利	稲沢支部	農業14

役職	氏名	支部名	卒科回
理事	宇佐美忠孝	稲沢支部	農土7
理事	桜井 照大	稲沢支部	農土10
理事	水野 幹夫	稲沢支部	園芸18
理事	木全 信明	稲沢支部	造土9
理事	本田 耕治	稲沢支部	造土10
理事	○後藤 幹寿	美和支部	農経10
理事	大平 悦司	美和支部	農土18
理事	大宮 守茂	千代田支部	園芸7
理事	横田 和明	千代田支部	園芸9
理事	三輪 照夫	千代田支部	農経7
理事	田島 正敏	千代田支部	農業10
理事	平野 哲夫	千代田支部	園芸10
理事	溝口 孝雄	千代田支部	普通12
理事	住田多美子	千代田支部	普通17
理事	○水谷 治夫	祖父江支部	定農5
理事	戸田 成一	祖父江支部	定農10
理事	石原 勝	祖父江支部	定農14
理事	田中 正文	祖父江支部	園芸13
理事	近藤 硬	祖父江支部	園芸19
理事	松原 勝	祖父江支部	農経3
理事	○伊藤 誠	飛島支部	農土14
理事	○鈴木 清彦	佐織支部	園芸15
理事	伊藤 義文	佐織支部	農業14
理事	○中村 秀美	岩倉支部	造土6
理事	○山本 重雄	十四山支部	農業9
理事	○国立富士夫	尾西支部	造土2
理事	浅野 友栄	尾西支部	園芸37
理事	日比野克彦	尾西支部	園芸30
理事	柴田 秀雄	大和支部	園芸25
理事	○伊藤 定廣	佐屋支部	農土10
顧問	林 広志	校長	
参与	岡田 隆雄	教頭	
参与	立井 浩	事務長	
学校理事	山田 一夫	事務局長	
学校理事	大崎 雅之	事務局次長	

※○印は支部長兼任

支部長名簿 (上記役員との兼任者は除く)

支部	氏名	卒科回	支部	氏名	卒科回	支部	氏名	卒科回
八開支部	鷺野 峰生	園芸24	大治支部	三輪 明広	園芸35	西枇杷島支部	蜂須賀 毅	農土5
蟹江支部	山田 晴雄	造土1	立田支部	佐藤 正	園芸18	西春支部	武市 重信	定農12
一宮北方支部	馬場 慎一	農土10	津島支部	平野 紀一	農業11	春日支部	加藤 頌茲	定農5
清洲支部	成瀬 恒雄	定農13	丹陽支部	佐々 丈夫	農土4	木曾川支部	井浪 靖久	農業12
大和支部	青山 吉光	造土7	千秋支部	寺澤 正美	農土16	弥富支部	服部 敏晴	農経5
明治支部	竹村 武	園芸8	江南支部	駒田 宏孝	園芸7	大口支部	安藤 巖	農業13
大里支部	花井 鈺治	農高1	甚目寺支部	杉本 耕基	造土2			

「アンジェリカ 天使からの贈り物」私たちの明日葉プロジェクト活動
生活科学科 板津美海
三年五組



私たちは、五月三日から五日までの二泊三日、明日葉農家との交流と、明日葉生育調査のため、農場長の長谷川光隆先生引率のもと、伊豆大島に行きました。そこでは、稲沢とは違い、道路沿いや畑等の至る所に明日葉があり、地元の人たちに愛され、特産として、大切に扱われていることに驚きました。私たちも、伊豆大島に負けないくらい、稲沢に薬用植物「明日葉」を広く普及させていき、稲沢市を薬用植物、薬膳の健康都

市にしていきたいです。そして、それを全国に発信していくためにも、県大会を勝ち進み、東海、全国大会に出場したいと思います。

卓球部
農業土木科 池田匠
二年三組

僕は高校に入学したとき「県大会なんて簡単に行ける。」と思っていました。しかし、一年生の時の高校総体尾張地区予選会ではすぐに負けてしまい、県大会に出場することはできませんでした。自分の弱さを知り、本当に悔しかったです。その悔しさを



バネにして、練習に取り組み、今回県大会に出場することができました。僕が県大会に出場することができたのは、家族、部活の仲間や顧問の先生が支えてくれたからだと思っています。県大会ではベスト32という結果で終わってしまいました。僕にはあと一回出場する機会があります。来年はもっと良い結果を出せるよう、頑張りたいです。

写真部
生活科学科 千葉華月
三年五組

昨年のバレンタインの日朝からすごい雪でした。友達と学校へ登校しましたが、途中で傘をさすのを諦めて、雪を浴びながら登校しました。学校に着くと、友達も私も雪だるまのようでした。やっと学校に着きほっとしたのか、「あく寒」と友達がつぶやいていたので、思わずスマートフォンで写真を撮りました。軽い気持ちで応募したので、愛知県代表に選ばれたと知った時はびっくりしました。学校の校舎に私の名前が入った大きい垂れ幕が飾られて、話をしたくない先生方にも名前を覚えてもらえて嬉しかったです。



写真部に所属していますが、手軽にスマートフォンで写真を撮ることが多く、一眼レフカメラには全く興味がありませんでしたが、自分の写真がこのように高く評価されると、自分用のカメラが欲しくなりました。もっと色々な人の色々な表情の写真を撮りたいと思います。

農業鑑定競技で
全国大会出場
園芸科 二年一組

昨年の沖繩大会に続き、今年の群馬大会にも出場することができました。昨年の大会では、我が校から出場した選手の中で、僕だけが獲れなかったのが、今年は昨年の悔しさをバネにして、きちんと結果を残したいです。

生活科学科 二年五組
橋村 香穂
久しぶりに生活科学科が全国大会に行けるので、代表と

して恥ずかしくないよう気合を入れてがんばりたいと思います。先生方の期待と共に自分の限界に挑戦できるように、これからも農業鑑定の勉強に励み、入賞して帰ってきたいです。



県農業鑑定競技会 優秀



県測量競技会 優秀



修学旅行



修学旅行



入学式



体育祭



稲高祭



1日警官



いきいきマーケット



ふれあい農園

スクールライフ

School Life

新・転任者

〔教諭〕氏名(教科)(前任校)

山本真由美 英語 (県立大府高等学校)

武田 誠司 農業 (愛知県総合教育センター)

村尾 佳典 農業 (農業教育共同実習所)

持地 信雄 農業 (県立田口高等学校)

菅田垂矢子 農業 新規採用 (県立安城農林高等学校)

〔再任用教諭〕

山内 良正 保体 (県立一宮商業高等学校)

塚本 周作 農業 (県立稲沢高等学校)

〔実習助手〕

大崎 雅之 農業 (県立安城農林高等学校)

〔再任用実習教師〕

橋本 鉄之 農業 (県立稲沢高等学校)

転・退出者

〔教諭〕氏名(教科)(転出先)

塚本 周作 農業 (県立稲沢高等学校)

福地 弘明 農業 (愛知県総合教育センター)

小笠原 崇 農業 (農業教育共同実習所)

垣下 重宣 農業 (県立安城農林高等学校)

彦坂 祐志 保健体育 (県立安城農林高等学校)

〔再任用教諭〕

土谷 茂 英語 (県立長久手高等学校)

〔実習助手〕

橋本 鉄之 農業 (県立稲沢高等学校)

石川 潤次 農業 (県立安城農林高等学校)

和田 由香 農業 退職

平成 26 年度一般会計収支決算書

愛知県立稲沢高等学校同窓会

収 入 額 9 5 1, 8 5 2 円
 支 出 額 7 2 0, 5 2 8 円
 差 引 額 2 3 1, 3 2 4 円 (平成 27 年 3 月 31 日 現在)

収入の部

単位 円

項 目	予 算 額	収 入 額	差 引 額	摘 要
第 1 項 入会金	7 0 4, 0 0 0	7 0 4, 0 0 0	0	平成 25 年度卒業生 1 7 6 名
1 目 普通会員入会金	7 0 4, 0 0 0	7 0 4, 0 0 0	0	
第 2 項 繰越金	1 5 9, 8 0 4	1 5 9, 8 0 4	0	
1 目 前年度繰越金	1 5 9, 8 0 4	1 5 9, 8 0 4	0	
第 3 項 雑収入	1 1 1, 0 0 0	8 8, 0 4 8	△ 2 2, 9 5 2	利子
1 目 総会参加費	1 0 0, 0 0 0	8 2, 0 0 0	△ 1 8, 0 0 0	
2 目 預金利子	1, 0 0 0	4 8	△ 9 5 2	
3 目 雑収入	1 0, 0 0 0	6, 0 0 0	△ 4, 0 0 0	
第 4 項 繰入金	0	0	0	
1 目 繰入金	0	0	0	
収 入 合 計	9 7 4, 8 0 4	9 5 1, 8 5 2	△ 2 2, 9 5 2	

支出の部

単位 円

項 目	予 算 額	支 出 額	差 引 額	摘 要
第 1 項 事務費	6 0, 0 0 0	5 1, 2 4 6	8, 7 5 4	予算増 10, 000 円
1 目 事務費	6 0, 0 0 0	5 1, 2 4 6	8, 7 5 4	切手・ハガキ 予算増 10, 000 円
第 2 項 事業費	8 8 0, 0 0 1	6 6 9, 2 8 2	2 1 0, 7 1 9	予算減 10, 000 円
1 目 総会費	2 8 0, 0 0 0	2 6 1, 7 5 8	1 8, 2 4 2	総会費他
2 目 役員会費	1 0, 0 0 0	0	1 0, 0 0 0	会場費他 予算減 50, 000 円
3 目 支部長会費	2 0, 0 0 0	2 0, 0 0 0	0	会場費他
4 目 会報発行費	2 8 0, 0 0 0	2 7 3, 4 5 6	6, 5 4 4	予算増 80, 000 円
5 目 運営調査費	1	0	1	
6 目 名簿編集費	4 0, 0 0 0	0	4 0, 0 0 0	予算減 40, 000 円
7 目 慶弔費	2 0 0, 0 0 0	1 1 4, 0 6 8	8 5, 9 3 2	証書入 (平成 26 年度卒業生 180 名)
8 目 旅費	5 0, 0 0 0	0	5 0, 0 0 0	
第 3 項 予備費	3 4, 8 0 3	0	3 4, 8 0 3	
1 目 予備費	3 4, 8 0 3	0	3 4, 8 0 3	
支 出 合 計	9 7 4, 8 0 4	7 2 0, 5 2 8	2 5 4, 2 7 6	

平成 26 年度蓄積基金収支決算書

蓄 積 基 金 5, 5 9 5, 6 6 2 円 (平成 27 年 3 月 31 日 現在)

単位 円

収 入		支 出	
1 前年度繰越金	5, 4 1 8, 6 4 5	1 繰 越 金	0
2 入 会 金	1 7 6, 0 0 0		
3 預 金 利 子	1, 0 1 7		
4 雑 収 入	0		
収 入 合 計	5, 5 9 5, 6 6 2	支 出 合 計	0

【内訳】	収入合計	5, 5 9 5, 6 6 2 円	三菱東京UFJ銀行	普通預金	2, 0 0 6, 8 1 5 円
	支出合計	0 円	愛知西農業協同組合	普通預金	8 8, 8 4 7 円
	差引額	5, 5 9 5, 6 6 2 円	愛知西農業協同組合	定期	1, 5 0 0, 0 0 0 円
			愛知西農業協同組合	定期	2, 0 0 0, 0 0 0 円
			合 計		5, 5 9 5, 6 6 2 円

平成 28 年度総会のご案内

- 一 日 時
平成 28 年 8 月 28 日 (日) 午前 10 時～
- 二 場 所
名古屋文理大学文化フォーラム (稲沢市民会館) 小ホール

